資料７

基本構想（素案）の検討について

目次

１　基本構想とは……2
⑴　尾張旭市総合計画に関する条例での定義……2
⑵　基本構想の構成……2
２　めざすまちの未来像……3
⑴　これまでの将来の都市像……3
⑵　第六次総合計画「めざすまちの未来像」検討経緯……4
３　まちづくりの基本方針……7
まちづくりの基本方針の検討経緯……7
４　基本目標……8
⑴　分野分けと基本目標の検討経緯……8
⑵　基本目標の設定……8

1　基本構想とは

⑴　尾張旭市総合計画に関する条例での定義

将来の都市像（めざすまちの未来像）及び市政の方向を定めるための基本的な考え方

⑵　基本構想の構成

①　めざすまちの未来像（将来の都市像）

本市に関わる全ての人たちが共有するとともに、それぞれが実現に向けて主体的に取り組むための共通のまちづくりの理念。第五次総合計画までは「将来の都市像」と呼んでいましたが、第六次総合計画では、市民への分かりやすさと親しみやすさを重視し変更する。

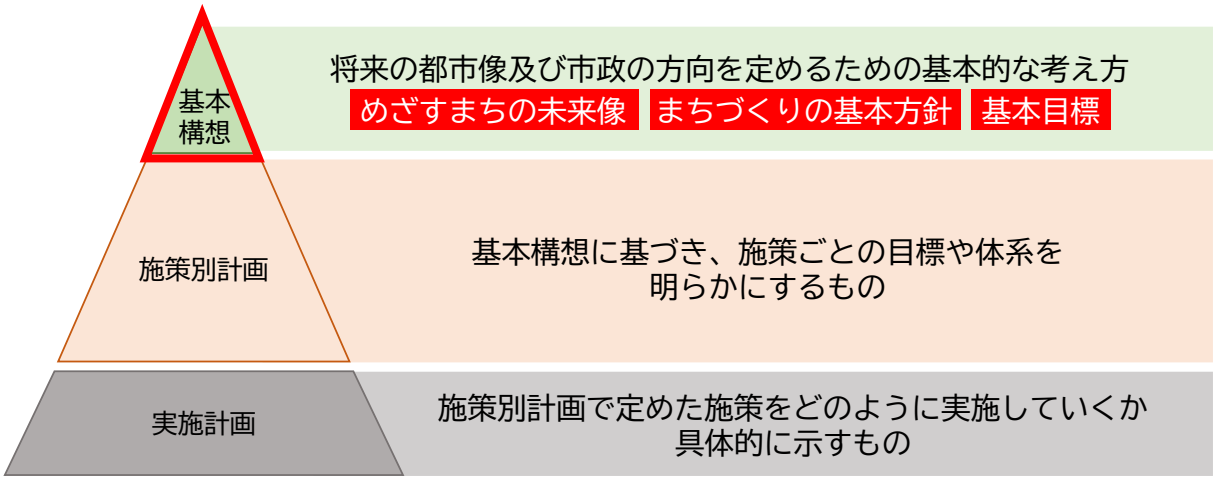
②　まちづくりの基本方針

「①めざすまちの未来像」の実現に向け、市民の皆さんが思い描く「まちづくり」に対する意見を踏まえて設定した基本的な方針。

③　基本目標

「①めざすまちの未来像」を実現するため、設定する分野ごとの目標。

参考　計画全体の構成と基本構想の位置



2　めざすまちの未来像

⑴　これまでの将来の都市像

①　尾張旭市総合計画（第一次総合計画）

将来の都市像　「緑と光に恵まれた豊かな健康都市」

計 画 期 間　昭和 48 年度～昭和 56 年度

②　第二次総合計画

将来の都市像　「緑と太陽に恵まれた豊かな健康都市」

計 画 期 間　　昭和 57 年度～平成 4 年度

③　第三次総合計画

将来の都市像　「緑と太陽に恵まれた豊かな公園都市

計 画 期 間　　平成 5 年度～平成 15 年度

④　第四次総合計画

将来の都市像　「ともにつくる 元気あふれる 公園都市」

計 画 期 間　　平成 16 年度～平成 25 年度

⑤　第五次総合計画

将来の都市像　「みんなで支えあう 緑と元気あふれる 住みよいまち 尾張旭」

計 画 期 間　　平成 26 年度～令和 5 年度

⑵　第六次総合計画「めざすまちの未来像」検討経緯

①　基礎調査結果等から見出された検討ポイントの整理

- 第五次総合計画の「将来の都市像」は、「尾張旭市らしさ」という点で共感を得ている。
  ⇒　抜本的な変更の必要性は低い
- 多くの市民が、本市に対して「愛着」や「誇り」を有している。
  「持ち家を購入して永住するまち」、「子どもを産み育て・成長させる過程で住むまち」としての評価も高い。
  ⇒　この強みを内外に認知・共感を深めていくことが重要
- 20 代などの若い世代の、本市に対する「愛着」や「誇り」に対する評価は低い。若い世代は、消費志向などで独自の価値観を有していると言われている。
  ⇒　若い世代の固有の希望に応え、若い世代にも魅力あるまちにしていくことが重要
- ゆとりと落ち着きある生活環境や、生活利便性が評価されている一方、「暮らしていく上での魅力や活力に乏しい」と感じている市民が多数ある。
  市民ワークショップの意見でも、「暮らしの充実」や「楽しさ」を想起させるキーワードやニュアンスが多い。
  ⇒　「魅力や活力が必要」「暮らしの充実」「楽しさ」のイメージを組み込むことが必要
- 「素敵な店が少ない」に代表されるように、魅力や活力に乏しいと感じている市民が多い。
  年代によって異なるが、家族や子ども、パートナー、友だちなどと過ごす時間を大切にしたいと考える市民が多い。
  ⇒　こうした想いに応えていくことが必要
- 将来の暮らしに対し、「人生の選択肢の多さ」や「趣味や教養」など、自己実現に関する意見が多い
  ⇒　自己実現欲求の多様化を踏まえ、本市に住みながら、いかに希望する暮らしを実現できるかが重要

②　基礎調査結果等で出た意見の分析

多数意見のあったものを抽出し、円の大きさで意見の多さを表示

③　現計画の「将来の都市像」から考えるキーワードやニュアンス

市民アンケートや中学生アンケート、事業者ヒアリングなどの基礎調査の結果や、市民ワークショップでの意見を踏まえ、庁内プロジェクトチームで第六次総合計画の「めざすまちの未来像」に関するキーワードやニュアンスを、現計画の「将来の都市像（みんなで支えあう 緑と元気あふれる 住みよいまち 尾張旭）」をベースに検討した。

意見のあった キーワードやニュアンス	意見の内容
支えあう⇒つながる	協働、共生、共栄など市民と行政が共に成長し、まちを創るイメージを強くしてはどうか
元気⇒いきいき	生活や趣味の充実、元気など、いろいろな言葉を広く包含できるワードにしてはどうか
明日が楽しみ、笑顔	自分の趣味や家族、子育て、仕事など、全てにおいて満たされ、楽しみに思えるイメージを持たせてはどうか
癒し、ゆとり、 自分らしい、まったり	暮らしの豊かさにつながるイメージを持たせてはどうか
住みよい	結果として「住みよくなる」という考え方にしてはどうか。

④　「めざすまちの未来像」に込める想いやニュアンス

①②③の結果より、「めざすまちの未来像」に込める想いやニュアンスをまとめた。

「緑」が輝いている	● 安全で快適で安らぎあるまちづくりを進めていくことが必要
心豊かな「暮らし」を実現している	● 良好な住環境を守りつつ、本市の強みを活かしたまちの魅力と活力の向上が必要 ● 「暮らしのまち」としての尾張旭市のブランド形成を推進することが必要 ● 市民の愛着を高め、住みやすい・住みたいと感じるまちづくりを進めていくことが必要
「楽しさ」があふれている	● 誰もがそれぞれのウェルビーイングを実現することが必要 ● まち全体が「笑顔」であふれ、「生活の質」の向上をめざしたまちづくりが必要
様々な「つながり」がある	● 年齢や性別を問わず、市民同士や地域、行政などの既存のつながりを守ることが必要 ● 新たなつながりを創出することが必要 ● 市民や地域、事業者、行政などがつながり、共創のまちづくりを進めていくことが必要
「自分らしさ」を発揮できている	● 年齢や障がい、国籍等に関わらず、全ての人が希望する暮らしを叶えられるまちづくりが必要 ● デジタル技術の活用や活躍の場の創出などを進めることが必要

⑤　「めざすまちの未来像」の設定

次の点に注意して「めざすまちの未来像」を設定した。

- 「人」を中心とした計画とするため、まちの状態ではなく、「人の状態」や「人の気持ち・感じ方」を表す言葉とする
- 特に説明がなくても、幅広い年齢層に分かりやすい言葉とする
- 「④想いやニュアンス」をイメージできる言葉とする

● 本市の特徴である「緑」が輝き、安全で快適で安らぎのある暮らしを送っている様子 ● まちの魅力や活力があふれ、心豊かな「暮らし」を送っている様子 ● 年齢や性別を問わず、市民同士や地域、行政が「つながり」っている様子 ● 全ての人が希望する暮らしを叶え「自分らしさ」を発揮できている様子	● まちの魅力や活力があふれ、心豊かな「暮らし」を送っている様子 ● 誰もがそれぞれのウェルビーングを実現し、「楽しさ」を実感し、「笑顔」があふれている様子
↓	↓
人それぞれの「幸せ」を積み重ね、世代を超えてつないでいく	市内のあちこちで市民等の「笑顔」が生まれ、まち中に広がっていく
↓	↓
幸せ　つむぐ	笑顔　あふれる

↓

幸せつむぐ　笑顔あふれる　尾張旭

3　まちづくりの基本方針

まちづくりの基本方針の検討経緯

市民の皆さんが思い描く「まちづくり」に対する意見等		
● 本市は、名古屋市に隣接する地理的に恵まれた条件を活かし、住宅都市としてのブランドが形成されている。 ● 基礎調査の結果、「暮らしやすいまち」に加え、「魅力や活気」や「健康」が、多くの市民から期待されている。 ● 他の世代とは異なり、10 代や 20 代は「まちの活力や魅力」に「住みやすさ」を見出している。	⇒	「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加える
● コロナ禍により、人々の暮らし方や働き方は大きく変化し、価値観の多様化が進んでいる。 ● 近年では、「経済的豊かさ」よりも「心理的な豊かさ」を求めるようになっており、基礎調査でも同様の結果が出ている。 ● 基礎調査の結果、本市に住みながら、いかに自分らしい暮らしを実現できるかが重要になっている。	⇒	「自分らしく」を応援する
● 未婚者のうち将来結婚する意向のある人が希望する子供の数（希望子供数）が過去最低の水準にある。 ● 本市には、「子育て期に家族で移住し、持ち家に住むまち」としての形態が整っている。 ● 基礎調査の結果、幼稚園や通学可能な高等学校の選択肢の少なさや、働く場所の少なさが課題となっている。	⇒	「子育てするまち」の魅力を高める
● 本市は市外で働く人が多く、市内で過ごす時間は短くなりがちで、まちに対する愛着形成の機会が少ない。 ● 基礎調査の結果、20 代の本市への愛着・誇りは低いことが課題となっており、転出者も多い。 ● コロナ禍による対面機会の減少等を機に、孤立問題の顕著化や、コミュニケーションの希薄化が社会問題となっている。	⇒	「人とのつながり」を大切にする

４　基本目標

⑴　分野分けと基本目標の検討経緯

- 第五次総合計画の体系をベースに設定
- 行政経営の観点で「基本目標」に向けて各施策を推進するため、原則「部」のレベルで「基本目標」を設定し、各基本目標の担当責任部署を明確化
- 「人」に焦点を当てて設定

⑵　基本目標の設定

番号	分野	基本目標
1	保健・医療・福祉	健康でいきいきと暮らすまち
2	こども・子育て	こどもがすくすく成長するまち
3	教育・生涯学習	豊かな心と知性を育むまち
4	都市基盤	質の高い暮らしを支えるまち
5	安全安心・市民生活	人とふれあい安心して暮らすまち
6	環境	環境にやさしい生活を送るまち
7	産業・にぎわい・多様性	笑顔と活力があふれるまち
8	行政経営	未来につながる行政経営